

九品仏自治会だより

http://setagaya-chousouren.org/ トップ→町会・自治会
(世田谷区町会総連合会ホームページ)

発行者 九品仏自治会
会長 横山 昭夫
奥沢 8-7-4 (3701-7558)
発行日 2014.3.20. VOL.182

「[H17.1.17]」「[H23.3.11]」から学ぼう

『自助・近所同士の共助』で大震災を乗り切ろう！

東日本大震災から3年経ちました。強くて長く続く揺れの中でこの世の終わりが来たのでは！と不吉な予感と恐怖心を抱いたことを今でもはっきり覚えています。皆さんは如何でしたか？2万人を超える死者・行方不明者が出る大災害になってしまいました。

今年の八幡中学校の立青式で代表の1人が『人類は知恵を出して困難を乗り越え、発展してきた。私たちもこの大災害を教訓として、未来を切り開いていかなければならない。』と力強く発言していました。大変頼もしく思いました。

阪神淡路大震災の時、倒壊家屋や火災から助け出された人々の80%が近所の人たちの救助によって助かったそうです。土地柄もあり、たまたま発災が出勤前の早朝だったからでもあり、自発的に助けてくれる人が大勢いたからのようです。古くからの住宅地である九品仏地区は平日の日中は、救助の中心的役割を担ってほしい40代を中心とした男性は仕事に出ていて、ほとんどいません。平日日中の救助は期待できません。倒壊家屋や家具の下敷きにならないよう、火災に取り残されないよう、普段から家屋を耐震・耐火構造にして家具も倒れないように補強しておく自助努力が絶対に必要になります。自宅が燃えなくても隣の空き家が燃え、類焼するかもしれません。もしも火災が発生したら近所で助け合って初期消火に努めなければなりません。家の中に取り残されないよう、お互い仲良くして安否確認をし合うようにしなくてはなりません。避難所での生活は様々な不便を覚悟しなくてはなりません。出来ることなら避け、近所同士で足りないものは補い合い助け合って、自宅で過ごした方が良いに決まっています。近所同士の共助がどうしても必要になります。

九品仏自治会は皆さんと知恵を出し合って、大災害を乗り切る『自助・近所同士の共助』を進めて参りたいと考えております。

会長 横山昭夫

カレンダー



3月

20(木)回覧

25(火)九品仏小・八幡小卒業式
防災部会

27(木)九小避難所運営会議
14:00～ランチルーム

4月

6(日)-15(火)

春の全国交通安全運動

7(月)九品仏小・八幡小入学式

8(火)八幡中学校入学式

ふれあい会

12(土)自治会会計監査、予算会議

22(月)回覧 組織部会

26(土)自治会定時総会

4月ふれあい会 健康体操 1 (5月に続く)

ひざ痛・腰痛の予防体操

日時 4月8日(火) 午後1時～3時

会場 九品仏地区会館 地下 大会議室

講師 保健センター指導員

持ち物 上履き・バスタオル・飲み物

連絡先 佐原 3701-4696



参加費 100円
動きやすい服装で
お気軽にご参加下さい

平成26年度 定時総会のご案内

九品仏自治会は皆様のご協力のもと、

今年も地域に根ざした活動を行って参ります。

その指針を会員の方々に諮るための定時総会を次のように開催します。

ご来場の上、皆様の声を是非お聞かせください。

日時:平成26年4月26日(土) 開会 午後1時半 (開場 午後1時)

会場:九品仏地区会館地下大会議室 (交番裏の建物です)

就学祝いをお届けしておりますが、3月中に届かない方、申請しそびれた方は遠慮なくお近くの理事までお知らせ下さい。

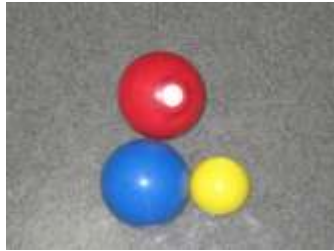
回
覧

裏面もご覧下さい 「ふれあい会だより」「八小ふれあい給食」



2月ふれあい会だより ゲーム大会

フランス生まれのペタンクと、投げ輪を、童心に返って楽しく遊びました。



ペタンクは、多少重めの弾まないボールを投げ、チーム対抗でカーリングのように得点を競います。最後にターゲットに近いボールの数で勝負！



おなじみの投げ輪、といっても1点から9点までの9本の棒目がけて…はねかえったり、はじかれたり。3つ並ぶとビンゴで加算されるのですが…



地域の話

八幡小学校 ふれあい給食 に参加しました

去る3月4日、八幡小学校で、近所に住むお年寄りが3年生と一緒に昔遊びをし、一緒に給食を食べる、という楽しい催しがあり、20人ばかり(主に八小の学区域)が招待を受け、私も参加させていただきました。

中にはお孫さんが通っていらっしゃるという方も何人かおられました。私ははまだ孫に恵まれない70歳のおばあさん……。はじめのうちは、子供たちの興奮してトーンの上昇した声が飛び交う会場で、お隣の方が話す言葉も聞き取れず、いささか戸惑ってしまいました。けれど慣れてくるに従い、自分たちの伝えたいことを夢中になって話す彼らのきらきら光る眼を見て、孫がかわいいという感情はこうした経験の中から生まれるのだろうと、少しばかり祖母になった気持ちを味あわせていただきました。

会の初めに、自分たちが調べた昔からの日本の行事、祖父母や両親に聞いた昔の道具や遊びについて、何人かが発表してくれました。絵を描いてそれを見せながら説明する子、中には調べたものを丸写し?でも、どの子も真剣で一所懸命、感動しました。

そのあとに頂いた給食の美味しさ、子供たちとの楽しいおしゃべり… こんなチャンス企画してくださった先生方に感謝するとともに、こうした機会がたくさんあったら地域の絆が深まるのかも知れないと、自治会がこれから何が出来るかをちょっと教えていただいた時間でもありました。

6丁目 Y.A.

子供たちが私のために用意してくれた
手作りのランチョンマットです。

